

特集 おしゃれ

新しい自分発見!

衣装に負けないこの風格は、この自信は、一体どこから来るのか。男の色気と未来への元気なパワーが溢れる。おしゃれは自らの生き方を表現するツール。伊達に歳はとっていないというエネルギーこそ元気の秘訣。それぞれに生きてきた時代は違っても、終着駅は同じ。ヴィサン・ビーブルの新たな挑戦が今、始まる。

- モデル左/手塚俊男 (102) PAPAS (パリス)
- モデル中/野島良和 (55)
- MAURIZIO BALDASSARI (マウリッツィオ・バルダサーリ)
- モデル右/矢吹康文 (32)
- MAURIZIO BALDASSARI (マウリッツィオ・バルダサーリ)

ファッションモデルに挑戦!

生き方がひとつなんて
もつたない!



レザージャケットは、ラフに着るほどかっこいい。初めて挑戦するレザーのジャケット。なぜかわからない。自分の中にあるエネルギーが湧き出そうな予感。これからが本当のほくらの時代。

●モデル/矢吹康文 (32)
MAURIZIO BALDASSARI
(マウリッツィオ・バルダサーリ)

ラッキーカラーはオレンジ。



生涯現役なんてもんじゃない。生涯青春だよ。

●モデル左/伊藤理香 (70) PAPAS (パパス)
●モデル右/高橋義孝 (78)
ジャケットBALICINI (バリシーニ)、シャツARAMIS (アラミス)

自分を変えることに抵抗もあったが、むしろ新しい自分を発見した気分。気持ちいいよ。ほくの色に出会ったという感じ。

●モデル/船田 輝 (62)
JOSEPH ABBOUD
(ジョセファブード)

自分らしさで
おしゃれを表現する



トラッドに決める

男の魅力、わかるだろ。そんな気持ちにさせる服。フード付コートは年齢に関係なく着こなせる。

●モデル/京極 浩 (41)
ZEPHYR (ゼファー)

気の合う友だちとのおしゃれ
べりが、元気の秘訣。

●モデル左/長谷貞子 (64)
Topsy (トピーズ)
●モデル中/矢ノ木 萌子 (58)
NOIVAN-STEIN
(ノイバンシュタイン)
●モデル右/矢吹康文 (32)



モデル氏名(年齢) 衣装ブランド名
※商品はすべてサンプルです。

おしやれ 特集

FASHION ヴィサン読者がファッ



さり気なく装おう

ヴィサン会員の皆さんが、流行の秋・冬コレクションに挑戦。普段の自分を捨て、モデルになりきってくださった皆さん。新たな自分を発見し、心も体も元気100倍に。

●モデル左/伊藤公子 (70)
breckenridge (ブレッケンリッジ)



カジュアルなツイードパンツが今年のトレンド。トップスには何を持ってきてもバッチリ。

ファッションは人の歴史を語る。この味のあるセットをバックに立てるのは、ほくしかいない。

●モデル/高橋義彦 (78)
ジャケット・スラックスBALICINI (パリシーニ)
シャツARAMIS (アラミス)

まだまだ握手したい女性がいるんだ!



ほくに会うと、みんな元気になると言うけど、ほくもみんなから元気をもらっているんだ。

●モデル/手塚健男 (102)
PAPAS (パピス)

これからの人生は「ふたり旅」

ジャガードセーターに対し、パール感のあるソフトベージュのロングコートで、夫婦のやさしさを表現。これからは、のんびりおしゃれの時代。

●モデル/伊藤理香 (70)
PAPAS (パピス)
●モデル/伊藤公子 (70)
GIANNI LO GIUDICE
(ジャンニ ロ ジュディチエ)



●ご協力ありがとうございました●

コーディネート：岩佐シニアファッション研究所/岩佐優一
撮影：CMS/丸谷裕一
衣装提供：横浜高島屋
ヘアメイク：山崎伊久江美容室/西倉啓太・松浦可奈子



さあ、人生をゆっくり語ろうぜ！

ベスト付きのジャケットが、男の魅力を引き立てる。愛犬と毎朝の散歩。誰にも邪魔されない、俺とお前だけの空間。
 ●モデル/押倉良和 (55)
 MAURIZIO BALDASSARI (マウリッツィオ・バルダサーリ)
 ●モデル犬/RICHIYA



美女に囲まれ、老翁 陽だまりファッションでご満悦！

●モデル/京極 浩 (41)
 ZEPHYR (ゼファー)



不動産業を営む伊藤さんと横浜中央卸売市場の改革に挑戦する坪倉さん。共通項は「未来をつくる」。
 ●モデル左/伊藤博春 (70)
 PAPAS (パピス)
 ●モデル右/押倉良和 (55)
 MAURIZIO BALDASSARI (マウリッツィオ・バルダサーリ)



ニットの首元からチラリと見えるシャツも自己主張。自前の靴も、負けずに主張していた。
 ●モデル/船田 康雄 (66)
 anobay HERRON (アノベイ・ヘロン)



今日初めてモデルに挑戦したババ、緊張してたね。言っとくけど、カッコよさだったら、ほくのほうが上だよ。
 ●モデル/矢吹拓斗 (1)
 ●モデル/矢吹康文 (32)
 MAURIZIO BALDASSARI (マウリッツィオ・バルダサーリ)



気持ちいい風を感じたい

遊び心のあるキュートなマフラーと、厚みのあるファー付きのダウン。いくつになっても、かわいくいたい。
 ●モデル左/長谷貞子 (64)
 Topy's (トピーズ)
 ●モデル右/矢ノ本路子 (56)
 Jantzen (ジャンゼン)

おしゃれをして出かけよう

今回、モデルの皆さんが着ている洋服のご提供など、全面協力をくださった横浜高島屋さん。売り場担当者のお2人を交え、最近のシニアファッションについて語りました。



株式会社高島屋横浜店 紳士服販売担当係長・林 和宏さん
株式会社高島屋横浜店 婦人服販売担当係長・寺本美沙さん
岩佐シニアファッション研究所 所長・岩佐俊一さん（左）



林さん

「極し」を求める傾向が年々強まっています。寺本 婦人服の場合、昨年まではファッションに

岩佐 今回のモデルさんも含め、最近はおしゃれなシニアが増えましたね。
林 2年前位から紳士服に変化が見えました。「ちょいワルおやじ」が現われ、ネクタイをはずしシャツで遊ぶようになりました。メーカーターゲットが30代であっても、実際は50、60代の方が多く購入されるなど、エイジレスになってるのが特徴です。
寺本 女性も同じです。ミセスフロア、ヤングフロアという表現自体、見直し時かなと。ライフスタイルで自由に選ぶ時代がきていると思います。
岩佐 時間もお金もある、元氣なシニアが増えました。趣味や活動など自分の時間を楽しんでいる方が多いんです。でもそのときどきなおしゃれをすればいいの？、「背広を脱いで何を着ればいいのか」とおっしゃる。
林 そんな方々も随分おしゃれになりアイテムも広がりました。しかもブランドではなくデイスブレイの中から選んでくださっています。今、本館フロアでは「旅」をイメージし、移動や観光、食事などさまざまなシーン（場面）を想定し、それぞれのコーディネート提案しています。

寺本 「流行に関心はあるけど…」という方も多いと思います。基本的にはご自分の好きな（安心できる）スタイルが一番ですが、その中でひとつトレンドを入れていくと、ぐっと

見られましたが、今年は景気回復の兆しか、赤や紫などはっきりとした色だとか、今までにはない新しいボリュウム・シルエットなど、「強い女性」のイメージが見受けられます。
岩佐 男性もオレンジや紫など、けっこう派手な色が目立っていますね。
林 皆さん若々しい感覚を持っていますので、普段は選ばない色・デザインを身につけて、新しい自分にとんとん挑戦してほしいですね。
岩佐 それからシニアの皆さんには、「長く着られる良いもの」を身につけてほしいですね。でも、自分に似合う色・デザインがわからないという方はどうしたらいいですか。
林 高島屋には、服選びや採寸などパーソナルに対応する「コンシェルジュ」がおります。試着だけでもよいので気軽にお声かけください。
寺本 「流行に関心はあるけど…」という方も多いと思います。基本的にはご自分の好きな（安心できる）スタイルが一番ですが、その中でひとつトレンドを入れていくと、ぐっと



寺本さん



岩佐さん

センス良く今年らしくなります。不慣れな色を顔回りに持つてくると抵抗もありますが、ベルトやバッグに取り入れるとか。全体のバランスが大事なので、姿見で少し離れて見る習慣をつけるといいですね。
岩佐 シニアの皆さんには勇氣を出して冒險してほしいんです。誰かにすすめられたりほめられたりすると、意外にその気になるもので。まずは、人に出会う機会を持つことが大事です。
林 やはり男性の場合は、パートナリーに「素敵よ」と言ってもらうのが一番じゃないでしょうか。
岩佐 「おしゃれには口を出さない」奥様も多いようですが、お互いいい意味で干渉し合うことも大切です。おしゃれに興味を持ち、自信がつけば、より積極的に人生を楽しもうという気持ちが生まれます。
寺本 グループ活動の場でもおしゃれ談義に花が咲くようになったらいいですね。健康で張りのある毎日を送るためにも、もっとファッションを楽しんでいただきたいですね。

みんな がんばり ました



撮影前夜に作成したコーディネート表



高島屋で試着中。上機嫌の伊藤理春さん



ファッションは足元が大事



衣装チエック中の
京極浩さん



高島屋で採寸する坪倉良和さん



企画とコーディネート
を担当した若佐俊一氏



プロの手で変身中の矢ノ木路子さん



ヴィサン第一回ワイワイ編集会議の中から生まれた「おしゃれ特集」は、読者にファッションモデルになっていただくという、とんでもない企画になりました。会議に参加していた松田さん、高橋さんは、当然、犠牲者に。さて、ドタバタの舞台裏を少しだけ紹介します。

最

近街を歩いていて思いませんか？

「おしゃれなシニアが増えてきたと。今や、おしゃれは若者だけの特権ではありません。今回は、おしゃれに自信がないというヴィサン会員の皆様に、流行の秋冬ファッションに挑戦していただきました。普段の自分を捨て、モデルになりました。ださった皆さん。秋の一日・撮影会の模様をお伝えしましたが、いかがでしたか？ 皆さん予想以上にモデル然としていて、カメラの前の表情も、ポーズもやけに決まっています。

そして、それはそのまま「おしゃれ」の意味を証明してくれたことにほかなりません。なぜって、「おしゃれなんて関心ない。モデルなんてできないよ」と言っていた皆さんが、これほど素敵にモデルを演じてくれました。お疲れ会で「昨日と違う自分に出会った感じ。明日から人に会おう、何かを始めようという気になった。これこそが健康ではないか」と語ったのは、流行のオレンジ色を着こなしていた松田隆さん。「おしゃれ」をすることで、こんなにも人の意識が変わってしまうことです。

最近、「老人施設に入所しているお年寄りにお化粧をする」地域サービスなどもあられ、元気な高齢化社会をつくることと、おしゃれが直結していることを物語っています。

また、19ページの「健康情報」のコラムでも述べているように、身だしなみに



102歳の手塚俊男さんモデルデビュー



公園での撮影風景。アクセントに花を演出



山崎伊久江美容室のヘアメイク 四倉啓太さんと松浦可奈子さん



ポーズはこれでいい？とかがっこよく決める、松田隆さん



どっぴ、帽子曲がってない？と高橋義彦さん



貨物線路をバックにドキドキの撮影



カメラマンの丸谷祐一さんも真剣



撮影終了。モデルの皆様お疲れ様！



撮影待ちの長谷貞子さん(左)と伊藤公子さん(右)



モデル犬リチャの飼い主も応援参加



みんなカッコイいわん…

症の予防にもつながります。つまり、メンタルヘルスの意味で、おしゃれと健康は切っても切れない関係にあるのです。

「個性を生かして身だしなみを整えたい」「自分に似合うおしゃれを楽しみたい」、そう思うことは決して贅沢なことでもわがままなことでもなく、人間にしか味わうことのできない醍醐味です。それによって気力が満ち、気持ち前向きになるのですから、いうことはありません。

長いこと「仕事が生きがい」と生きてきたシニアたちは、背広や制服を脱いで、それぞれの自分時間を楽しもうとしています。同様に、それは女性にもいえること。この世代の多くの女性たちは、家を守ることに、夫を支えることを務めとしてきましたが、ここへきて「さあ、バトンタッチ。今度は私の番よ」とばかり、家を飛び出して自由を謳歌し始めています。もちろん、夫婦でセカンドステージを楽しもうという方々もたくさんいます。夫婦間で、仲間同士で、さまざまな場面を意識した「おしゃれ」を楽しめるようになれば、こんな素敵なおしゃれはありませぬ。

人は何のためにおしゃれをするのでしょうか。「人からよく見られたい」「いい印象を与えたい」「自分が気持ちよくいたい」…。健康を衣食住で考えたとき、毎日の食事や住まい環境を意識すると同時に、おしゃれは、健康でいきいきと生きるためには絶対不可欠なテーマです。皆さんもこの機会に、おしゃれについて、考えてみてください。